

「奈良ブランド開発支援事業」について

事業目的 : 県内の中小企業者の、下請けやOEMからの自立を目指す。

最終消費までの多くの中間業者の存在により、製造事業者の利益が生まれにくい状況である。
県内企業がブランド構築の手法を用いて自らの顧客（ファン）を増やすことで、下請からの脱却を図るとともに地域の産業を活性化する。

事業内容 : 自社ブランドの構築につながる取り組みを支援

「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築の取組を実施。

① 「ブラッシュアップミーティング」 (毎月1回)
多種多様な業種が参加し、独自の理念、価値観のスタイル構築、商品、経営理念を磨いていく学びの場。

② 「TEIBAN展」 (年2回)
実践の機会の重要性は益々増えており、高感度な会場(新宿パークタワー、阪急百貨店等)で、消費者のファンを獲得していく。

成果等

○グッドデザイン賞を4回受賞

主催：公益財団法人グッドデザイン振興会 2012年,2013年,2014年,2018年

○近畿経済産業局発行の地域でのブランディング事例

○参加事業者は、BtoBの一層の良質化、BtoC進出など事業を高付加価値化

